
平成28年度

中間決算の概要(9月期)

地方公共団体金融機構

平成28年度中間決算のポイント

- ◇ 経常利益は788億円で、前年同期比59億円減。
中間純利益は122億円で、前年同期比14億円減。
- ◇ 資産総額は貸付金等24兆8,744億円で、前年度比2,311億円増。
負債総額は債券等24兆6,463億円で、前年度比2,192億円増。
純資産総額は利益剰余金等2,280億円で、前年度比119億円増。
- ◇ 地方公共団体健全化基金は9,202億円で、前年度比同額。
金利変動準備金は1兆9,800億円で、前年度比2,200億円増。
公庫債権金利変動準備金は1兆4,888億円で、前年度比1,496億円減。

会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◇ 当中間期の**経常利益は788億円**で、前中間期より59億円減少(▲7.0%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を60億円上回ったこと等が要因。
- ◇ **中間純利益は122億円**で、前中間期より14億円減少(▲10.4%)。一般勘定の中間純利益が減少したことが要因。

科 目	H28中間(A)	H27中間(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,893億円	2,050億円	▲157億円
貸付金利息	1,890億円	2,044億円	▲154億円
余資運用益	0億円	2億円	▲2億円
その他	1億円	2億円	▲1億円
経 常 費 用	1,104億円	1,202億円	▲98億円
債券利息	1,062億円	1,156億円	▲94億円
その他	42億円	46億円	▲4億円
経 常 利 益	788億円	847億円	▲59億円
特 別 利 益	2,237億円	2,242億円	▲5億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円	2,200億円	—
利差補てん積立金取崩額	37億円	42億円	▲5億円
特 別 損 失	2,903億円	2,953億円	▲50億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円	2,200億円	—
公庫債権金利変動準備金繰入額	703億円	753億円	▲50億円
中 間 純 利 益	122億円	136億円	▲14億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [一般勘定]

- ◇ 当中間期の**経常利益は122億円**で、前中間期より14億円減少(▲10.4%)。
- ◇ 貸付金利息の増加額が債券利息の増加額を7億円下回ったこと及び、健全化基金受取利息が皆減したこと等が要因。
- ◇ **中間純利益は122億円**で、前中間期より14億円減少(▲10.4%)。

科 目	H28中間(A)	H27中間(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	670億円	674億円	▲4億円
貸付金利息	665億円	655億円	10億円
余資運用益	0億円	2億円	▲2億円
金利スワップ受取利息	0億円	1億円	▲1億円
健全化基金受取利息	—	11億円	皆減
その他の	4億円	4億円	▲0億円
経 常 費 用	547億円	537億円	10億円
債券利息	470億円	453億円	17億円
借入金利息	2億円	2億円	0億円
金利スワップ支払利息	0億円	1億円	▲1億円
その他業務費用	12億円	14億円	▲2億円
営業経費	15億円	14億円	1億円
基金管理勘定繰出金	46億円	50億円	▲4億円
その他の	0億円	0億円	0億円
経 常 利 益	122億円	136億円	▲14億円
特 別 利 益	2,200億円	2,200億円	—
管理勘定繰入金	2,200億円	2,200億円	—
特 別 損 失	2,200億円	2,200億円	—
金利変動準備金繰入額	2,200億円	2,200億円	—
中 間 純 利 益	122億円	136億円	▲14億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [管理勘定]

- ◇ 当中間期の**経常利益は665億円**で、前中間期より45億円減少(▲6.3%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を53億円上回ったこと等が要因。
- ◇ 利益の範囲内で公庫債権金利変動準備金への繰入を行ったため、当中間期の純利益はゼロ。

科 目	H28中間(A)	H27中間(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,272億円	1,441億円	▲169億円
貸付金利息	1,225億円	1,389億円	▲164億円
基金一般勘定繰入金	46億円	50億円	▲4億円
その他	0億円	0億円	▲0億円
経 常 費 用	607億円	730億円	▲123億円
債券利息	592億円	703億円	▲111億円
健全化基金支払利息	—	11億円	皆減
その他	14億円	16億円	▲2億円
経 常 利 益	665億円	710億円	▲45億円
特 別 利 益	2,237億円	2,242億円	▲5億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円	2,200億円	—
利差補てん積立金取崩額	37億円	42億円	▲5億円
特 別 損 失	2,903億円	2,953億円	▲50億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	703億円	753億円	▲50億円
一般勘定繰出金	2,200億円	2,200億円	—
中 間 純 利 益	—	—	—

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [機構全体]

- ◇ 当中間期末現在の**資産総額は24兆8,744億円**で、前年度末より2,311億円増加(+0.9%)。
- ◇ 現金預け金が、普通預金の増等により前年度末比3,996億円増加したこと等が要因。

科 目	H28.9.30現在(A)	H28.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
貸 付 金	23兆6,033億円	23兆6,645億円	▲612億円
有 価 証 券	990億円	2,350億円	▲1,360億円
現 金 預 け 金	1兆1,112億円	7,116億円	3,996億円
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	462億円	162億円	300億円
そ の 他 資 産	104億円	115億円	▲11億円
有 形 固 定 資 産	26億円	27億円	▲1億円
無 形 固 定 資 産	15億円	17億円	▲2億円
合 計	24兆8,744億円	24兆6,433億円	2,311億円

有価証券・現金預け金の合計

⑳ 1兆2,102億円 ←

㉑ 9,466億円

(2,636億円)

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。



資産の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 一般勘定における資産総額は14兆1,798億円で、前年度末から8,336億円増加(+6.2%)。
- ◇ 管理勘定における資産総額は11兆4,192億円で、前年度末から6,248億円減少(▲5.2%)。

	科 目	H28.9.30現在(A)	H28.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	貸 付 金	12兆9,151億円	12兆3,748億円	5,403億円
	有 価 証 券	990億円	2,350億円	▲1,360億円
	現 金 預 け 金	1兆1,112億円	7,116億円	3,996億円
	金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	462億円	162億円	300億円
	そ の 他 資 産	40億円	40億円	▲0億円
	有 形 固 定 資 産	26億円	27億円	▲1億円
	無 形 固 定 資 産	15億円	17億円	▲2億円
	合 計	14兆1,798億円	13兆3,462億円	8,336億円
管 理 勘 定	貸 付 金	10兆6,882億円	11兆2,896億円	▲6,014億円
	そ の 他 資 産	63億円	74億円	▲11億円
	一 般 勘 定 貸	7,246億円	7,469億円	▲223億円
	合 計	11兆4,192億円	12兆440億円	▲6,248億円

有価証券・現金預け金の合計

⑳ 1兆2,102億円 ←

㉑ 9,466億円

(2,636億円)

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [機構全体]

- ◇ 当中間期末現在の**負債総額は24兆6,463億円**で、前年度末から2,192億円増加(+0.9%)。
- ◇ 負債の大半を占める債券は前年度末から2,197億円増加。当期発行額が償還額を上回ったこと等が要因。
- ◇ 公庫債権金利変動準備金は、借換益等703億円を積み立てたものの、金利変動準備金への2,200億円の年次繰入により前年度末から1,496億円減少。

科 目	H28.9.30現在(A)	H28.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
債 券	20兆193億円	19兆7,996億円	2,197億円
借 入 金	1,455億円	1,205億円	250億円
地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	—
金利変動準備金	1兆9,800億円	1兆7,600億円	2,200億円
公庫債権金利変動準備金	1兆4,888億円	1兆6,384億円	▲1,496億円
利差補てん積立金	445億円	483億円	▲38億円
金融商品等受入担保金	397億円	1,295億円	▲898億円
そ の 他	79億円	104億円	▲25億円
合 計	24兆6,463億円	24兆4,271億円	2,192億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 一般勘定の負債総額は14兆54億円で、前年度末から8,217億円増加(+6.2%)。
- ◇ 管理勘定の負債総額は11兆3,655億円で、前年度末から6,248億円減少(▲5.2%)。

	科 目	H28.9.30現在(A)	H28.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	債 券	10兆1,930億円	9兆5,040億円	6,890億円
	借 入 金	1,455億円	1,205億円	250億円
	地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	—
	金利変動準備金	1兆9,800億円	1兆7,600億円	2,200億円
	金融商品等受入担保金	397億円	1,295億円	▲898億円
	管理勘定借	7,246億円	7,469億円	▲223億円
	その 他	21億円	24億円	▲3億円
	合 計	14兆 54億円	13兆1,837億円	8,217億円
管 理 勘 定	債 券	9兆8,263億円	10兆2,955億円	▲4,692億円
	公庫債権金利変動準備金	1兆4,888億円	1兆6,384億円	▲1,496億円
	利差補てん積立金	445億円	483億円	▲38億円
	その 他 負 債	58億円	80億円	▲22億円
	合 計	11兆3,655億円	11兆9,903億円	▲6,248億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

純資産の状況

- ◇ 当中間期末現在の純資産総額は**2,280億円**で、前年度末から119億円増加(+5.5%)。
- ◇ 一般勘定の間純利益122億円を一般勘定中間未処分利益として計上する一方、金利スワップ取引に係る評価損益等である繰延ヘッジ損益が前年度末から4億円減少したことが要因。

科 目	H28.9.30現在(A)	H28.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
地方公共団体出資金	166億円	166億円	—
一般勘定積立金	1,379億円	1,379億円	—
一般勘定中間未処分利益	122億円	—	皆増
管理勘定利益積立金	536億円	536億円	—
繰延ヘッジ損益	76億円	80億円	▲4億円 <small>(うち金利スワップ期中解約分 ▲3億円 うち現存スワップ時価評価分 2億円 うち繰延ヘッジ取崩分 ▲2億円)</small>
合 計	2,280億円	2,161億円	119億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

(参考)平成28年度9月期決算における主要勘定の状況 (単位:億円)

【貸付金】

前期末高 ①	貸付額 ②	回収額 ③	期末残高 ①+②-③
236,645	7,640	8,252	236,033

【債券】

前期末高 ①	発行額 ②	償還額等 ③	期末残高 ①+②-③
197,996	11,566	9,368	200,193

【地方公共団体健全化基金】

前期末高 ①	納付金等 ②	基金運用益 ③	利下げ補てん所要額 ④	一般勘定自己財源充当額 ⑤	期末残高 ①+②+③- (④-⑤)
9,202	-	51	100	49	9,202

【利差補てん積立金】

前期末高 ①	取崩額 ②	期末残高 ①-②
483	37	445

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末残高 ①	年次繰入 ②	国庫納付 ③	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ④	公営企業 債券借換益 ⑤	期末残高 ①+②+③+④+⑤
金利変動準備金	17,600	2,200	-	-	-	19,800
公庫債権金利変動準備金	16,384	▲2,200	-	46	657	14,888

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。